

## オオヒカゲ

兵庫県：A

*Ninguta schrenckii schrenckii*

環境省：－

### 種の概要

前翅長35～45mm程度。翅の表面は黒褐色で後翅には黒斑を有する。裏面の地色は淡褐色で、黄色く縁取られた黒色の眼状紋を持つ。低山地から山地の疎林を含む湿地に生息し、幼虫はカサスゲ、テキリスゲなどを食べる。年1化性で、成虫は6月～8月に見られる。



写真提供：刈田悟史

### 国内分布

北海道、本州

### 県内分布記録

神戸市、三田市、神河町、宍粟市、佐用町、養父市

### 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○

### 特記事項

県内で11箇所の記録があり、生息地は限られていたが、1980年代にほとんどの地域で見られなくなり、1993年の宍粟市波賀町戸倉での記録が最後である。カサスゲなどの生育する湿地が点在する環境が近年消滅した。

### 保護上の留意点